

○ 美幌小学校

- ・ 第1回学校評価について
- ・ 第2回学校評価について
- ・ 学校関係者評価について

令和3年度

学校評価結果



学芸会



公開研究会

美幌町立美幌小学校

目次

1 第1回学校評価(令和3年7月実施)

教職員自己評価	1
保護者評価	2
児童アンケート	3
分析結果と保護者への回答	4

2 第2回学校評価(令和3年12月実施)

教職員自己評価	8
保護者評価	9
児童アンケート	10
分析結果と保護者への回答	11

3 学校関係者評価

第1回PTA役員会 (令和3年10月7日)	13
第2回PTA役員会 (令和3年1月31日)	
第1回学校運営協議会 (令和3年10月5日)	
第2回学校運営協議会 (令和4年3月10日) (紙面協議)	

令和3年度学校評価①「教職員アンケート」集計結果

	設問	A	B	C	D	平均	?	前回との比較
①	子どもたちに学力は定着していますか。		8	10	1	2.37	6	↓0.34
②	子どもたちは、発言している人の方を見て、最後までしっかり話をきいていますか。		6	14	1	2.24	4	↑0.11
③	子どもたちは、家庭学習をする習慣が身に付いていますか。		6	10		2.38	9	↑0.14
④	子どもたちは、運動する習慣が身に付いていますか。	2	12	4		2.89	7	↑0.04
⑤	子どもたちは、自分のよさを生かしたり、子どもたち同士でよりよい関係をつくったりしていますか。	3	16	3		3.00	3	—
⑥	子どもたちは、先生方や子どもたち同士、地域の方々に明るく、気持ちのよいあいさつをしていますか。	5	10	9		2.83	1	↑0.31
⑦	子どもたちは、「かしわっ子 学習のきまり」「かしわっ子 生活のやくそく」「校外生活のきまり」を守っていますか。	4	14	3		3.05	4	↑0.30
⑧	算数科を中心に課題の提示や板書・ノート指導の工夫を行い、子どもが「わかる・できる」を実感できる授業を行いましたか。	2	13	2		3.00	8	—
⑨	いじめの未然防止や早期解決等、子ども一人一人を大切に温かな指導(集団づくり)を行いましたか。	6	15	1		3.23	3	↓0.01
⑩	職員との協働、関係機関との連携を行いながら業務を推進しましたか。	9	11	3		3.26	1	↓0.07
回収率 72.7%						2.82		↑0.04
平均値が高い傾向 平均値が低い傾向								

令和3年度学校評価①「保護者アンケート」集計結果

	設問	A	B	C	D	平均	?	前回との比較
①	お子さんは、学力が身に付いていますか。	55	123	30	6	3.06	1	↑ 0.09
②	お子さんは、話を最後までしっかり聞いていますか。	36	98	69	9	2.76	3	↑ 0.06
③	お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いていますか。	39	80	51	41	2.55	4	↑ 0.07
④	お子さんは、たくさん運動をしていますか。	87	76	40	11	3.12	1	↑ 0.33
⑤	お子さんは、自分のよさや友だちのよさに気付いたり、話したりしていますか。	65	100	38	8	3.05	4	↑ 0.01
⑥	お子さんは、あいさつをしていますか。	67	97	48	3	3.06	0	↓ 0.08
⑦	お子さんは、きまりを守って生活していると思いますか。	55	120	34	6	3.04	0	↑ 0.01
⑧	美幌小学校は、お子さんが「わかる・できる」を実感できる授業を行っていると思いますか。	50	122	21	3	3.12	19	↑ 0.01
⑨	美幌小学校は、お子さん一人一人を大切にした教育活動を行っていると思いますか。	55	115	17	3	3.17	25	↑ 0.02
⑩	美幌小学校は、全教職員が連携した教育活動を行っていると思いますか。	50	100	23	3	3.12	39	↑ 0.02
回収数215(70.3%)						3.01		↑ 0.06
平均値が高い傾向 平均値が低い傾向								

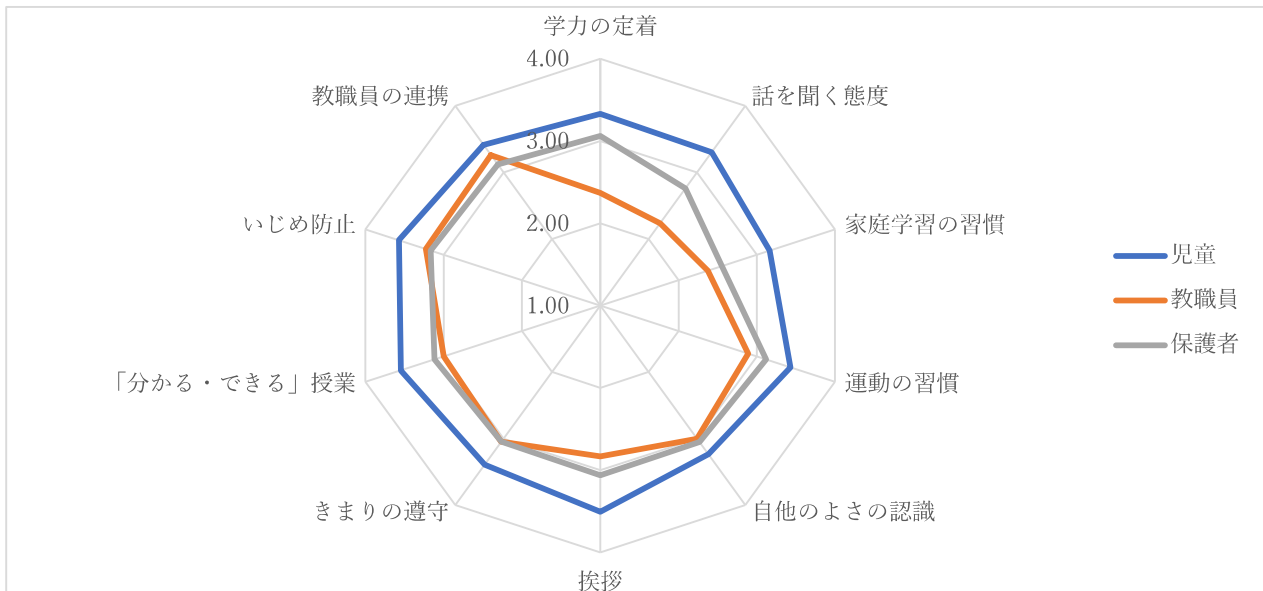
令和3年度 学校評価①「児童アンケート」集計結果

		よく	だいたい	あまり	ぜんぜん	平均	前回との 比較
①	勉強したことがよくわかったり、できたりしていますか。	120	155	20	1	3.33	↓ 0.09
②	話をしている人を見て、最後までしっかり聞くことができますか。	127	137	29	4	3.30	↓ 0.01
③	家でも勉強していますか。	134	91	58	14	3.16	-
④	たくさん運動していますか。	192	57	32	16	3.43	↑ 0.11
⑤	自分のいいところやお友だちのいいところを見つけられていますか。	132	114	39	12	3.23	↑ 0.33
⑥	先生やお友だち、地域の人に明るいあいさつができていますか。	174	100	22	1	3.51	-
⑦	「かしわっ子 学習のきまり」「かしわっ子 生活のやくそく」「校外生活のきまり」が守られていますか。	135	145	15	2	3.39	↑ 0.09
⑧	算数などの授業で、学んだことやわかったことをノートに書いていますか。	190	75	22	4	3.55	↑ 0.4
⑨	人が嫌がるようなことをしないで、まわりと仲よくしていますか。	191	90	16	2	3.57	-
⑩	いろいろな先生と、お話をしたりお勉強をしたりしていますか。	153	117	24	3	3.41	↑ 0.07
	回収率 97.1%					3.39	↑ 0.06
	平均値が高い傾向 平均値が低い傾向						

令和3年度 第1回学校評価の結果

7月に実施した学校評価の結果をお知らせいたします。保護者の皆様のご協力に改めてお礼申し上げます。保護者アンケートの回収率は前回(令和2年12月)より1.1%減少して70.3%でした。

☆評価基準 4 十分できている 3 概ねできている 2 やや不十分 1 不十分



1 学力の定着

全国学力・学習状況調査やチャレンジテスト等、客観的な調査の全体的な傾向からは、学力の向上が少しずつではありますが着実に進んでいます。しかし、結果を分析すると、依然として下位層に属する児童の割合が多いとなっています。今後も、授業改善をさらに進めていくとともに、「学力とは何か」「美幌小学校の子供たちに育成する資質・能力は何か」について、学校からの説明と発信を十分に行っていくようにします。

2 話を聞く態度

本校児童にとって、ずっと続いている大きな課題となっています。また、1と2については、教職員・保護者・児童の差が大きくなっています。「相手の方を向いて聞く」までの意識はあるけれども、「話の内容を聞き取り理解する」までは、達していないのかもしれません。今後も全体指導において、視覚に訴えたり言葉を精選したりしながら、できる限り実態に応じた支援を工夫していきます。

3 家庭学習の習慣

保護者の皆様のご協力により、宿題に取り組む子が全体的に増えているようです。ただ、児童と大人の自学学習に対する認識にずれがあるかもしれません。今後も、学校として宿題の提示や自学学習の内容提供、提出後のフォローなど内容の充実を図っていきます。

4 運動の習慣

運動の習慣については、前回よりも数値が改善されました。学校でも感染症対策を行いながら、体育を中心として教育活動を進めています。今年度実施した体力テストでは、例年よりも持久力などの数値が低くなっているという結果も出ていました。まだまだ、今まで通りの活動とはならないのも事実ですが、今後もできることを考えながら取り組んでいきたいと思います。

5 自他のよさの認識

今回、児童の数値が大きく改善された項目です。ただ、まだまだ「自分には、よいところがあると思う」と感じていなかったり、後ろ向きな発言が習慣化されていたりする児童がいるのも事実ではあるので、職員も子どももよいところを今後も認め合い褒め合っていくことで、よりあたたかな学級・学年・学校へとつなげていけるようにしていきます。

6 挨拶

児童・保護者の数値の変化は横ばいですが、教職員の数値が上昇しました。コロナ禍で大きな声ではきはきと…ということにはなりません、子どもたちから場に合った適切な声の大きさに「あはようございます」「さようなら」などと挨拶をする場面が多く見られました。ただ、まだ挨拶ができていない子がいるので、お互いが気持ちのよい生活を送るための一つのツールとして身に付くよう、今後も粘り強く声掛けをしていきます。

7 きまりの遵守

こちら教職員の数値が上昇しました。自分たちの学校生活をよりよくするためのルールをみんなと考えたり、声をかけ合ったりする活動の成果が表れてきています。また、ご家庭でも家族の中のきまりがあり、それを守るように声掛けをして下さっていることもあるのかなとも思います。今後も学校・家庭両方で支えていきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

8 分かる・できる授業

本校では、以下の2点を今年度の重点として、2020年度から全面実施となっている学習指導要領に即した授業づくり、とりわけ算数科に力を入れて校内研究（教員研修）に取り組んでいます。

今年度の校内研究（教員研修）の重点

- （１）練習問題の精選。
- （２）学びを振り返ること（自己評価）や、友だちの考えの良さを振り返ることができるノート指導。

特に今年度は、学習内容の「振り返り」という部分を意識して取り組むことで、「何ができるようになったか」などの学習内容についての確認だけではなく、友だちの良さを見付けるといった学校評価の5「自他のよさの認識」も意識した内容について取り組んでいます。

9 いじめ防止

いじめ防止の項目については、教職員・保護者・児童ともに高い数値（わからないと答えた方を除いた総数に対して、十分できている・概ねできているに印が付いていた割合が、教職員95%、保護者89%、児童94%）を示していました。一定の評価をいただけてはいますが、まだまだ潜在的になっているものなどがあるかもしれません。今後とも、学校と家庭で連携していきながら取り組んで参りたいと思いますので、気になることがありましたらそのままにせず各担任・学校までご連絡をお願いします。

10 教職員の連携

今年度は、11名の新しい教職員が着任し、合計47名の教職員で教育活動を行っております。様々な立場やキャリアの教職員が集まっていますが、本校の3つの重点目標「わかる・できるが実感できる授業」「一人一人が大切にされるあたたかな学級・学年経営、信頼される学校」「共感・協働・連携する学校」を目指して、全教職員で連携をして教育活動に取り組んでいます。

学校の教育活動や子どもたちの姿でよかったところ、気になったこと、その他意見等の概要
※全てを掲載することは難しく、一部抜粋となっていることをご了承ください。

○学級通信に写真を載せてくれているので、学校の様子が知れて嬉しいです。

→どの学級も子どもたちの様子を伝えられるよう工夫して学級通信を作成しています。担任もできるだけ様子がわかるようにと考えていますが、あくまで子どもたちに学習などを教えることが一番のメインですので、写真が撮れない場合があるということもご了承ください。

○コロナ禍でのマスク生活や黙食など、低学年では難しいことにも頑張っていると思います。

→低学年は、今の状況が当たり前の学校生活のようになりつつあります。逆に上の学年の方が今までの学校生活を知っているので、窮屈に思っているかもしれません。早く元の学校生活に戻って欲しいと思うのは、誰もが同じ考えかと思います。どんな方法であっても100%の感染症対策は難しいかもしれませんが、今後も学校でできる感染症対策については指導をしていきます。

○分からないところやテストで間違えたところを家庭学習でもう一度解き直しをするなど、成長が見られるようになりました。

→自ら課題を見付けて学んでいる素敵な一例だと思います。苦手や間違えた部分を解き直すのは効率よく学習する方法の1つだと思います。もちろん、分からないときには大人に聞くということも大切かと思います。また、こつこつと漢字の学習や計算の練習をするのもよいですし、学習に関係する興味があることを調べてノートにまとめるのもよいと思います。そうやって、自分から学ぶ習慣付けができるよう今後も声を掛けていきますので、ご家庭でもご協力をお願いします。

○あいさつができるようになったり、目上の人に丁寧な言葉遣いができるようになったりと成長を感じています。

→アンケートの結果にも書かせていただきましたが、あいさつができるようになってきている子が多く感じます。はきはきとということも大切ですが、今の状況を考えると「適切な声の大きさ」や「相手を見て」という部分が大切かと思います。今後も指導を継続していきます。

●この状況なので仕方ないと思いますが、遠足についてはお弁当はダメでもお菓子の1つくらいは良いのではないかな…と思いました。（運動会についても、実施をして欲しかったという意見がありました）

→保護者の皆様の願いや我々教職員が子どもたちに行事をさせてあげたいと思う気持ちは同じです。しかし、緊急事態宣言の時期であったことなどをふまえると、なかなか今まで通りの実施が難しかったということをご理解いただければと思います。ただ、これまでの経験を生かして教育活動を進めて参りたいと思っております。今後も行事がありますが、実施などについてもコロナ対応の部分が出てくると思いますので、学校からの文書が届きましたらご一読をお願いいたします。

●コロナウイルス感染症対策としての欠席の判断が難しいです。

→感染レベルによっても若干対応が異なるのですが、基本としては「発熱がなくとも風邪症状がある場合には兄弟姉妹も欠席」とし、その際の欠席は「出席停止の日数」となります。ただし、病院に行き診断名が出ていてコロナではないという場合には、該当児童以外の兄弟姉妹は元気であれば登校可となります。（例えば、下の子が発熱で病院受診し「喘息」と診断されたが上の子は無症状で元気である場合などです。）

◎学習面も運動面ともに反抗期もあってか、やる気を出させることに苦勞をしています。何かあれば教えていただきたいです。

→学校では集団生活の中で取り組むことが多く、意欲だけではなく同調意識が働いて学習しているという場合もあるかと思います。ご家庭の場合、学びの仲間がいないので、保護者の皆様もお忙しいかとは思いますが、学習・運動している様子を見てあげたり、時には一緒にやってみたりするというのも1つの方法かな…と思います。あとは、学習時間は学年×10分をまずは目安に決め、いつやるかを子どもに決めさせるのも1つかと思います。もちろん、これが正解ではないですし、他にもたくさん方法があると思います。

◎ジャージがひっかかってほつれたり痛んだりするので、イスや机をプラスチック製にして欲しいです。

→申し訳ありませんが、机やイスについては、すぐに新しいものを購入することは難しいです。あまりにもひどい場合は、担任までお知らせ下さい。引っかかりがひどいイスなどは技能員さんがヤスリをかけるなどして整えたり、無理な場合は学校に保管されている予備と交換したりしますのでよろしくお願いします。

◎アンケートを紙ではなく携帯でもできるようにして欲しいです。

→今回は紙ベースで実施をしましたが、年末にも学校評価のアンケートを実施予定です。その際には、Google フォームでも回答ができるようにしたいと考えています。準備が整いましたら紙でも携帯やPCでも回答しやすい方のどちらかにかまいませんので、是非今後とも協力をお願いいたします。

令和3年度学校評価②「教職員アンケート」集計結果

	設問	A	B	C	D	平均	?	前回との比較
①	子どもたちに学力は定着していますか。		9	9	1	2.42	6	↑0.05
②	子どもたちは、発言している人の方を見て、最後までしっかり話をきいていますか。	1	8	13	1	2.39	2	↑0.15
③	子どもたちは、家庭学習をする習慣が身に付いていますか。		8	7	3	2.28	7	↓0.10
④	子どもたちは、運動する習慣が身に付いていますか。	2	14	3	1	2.85	5	↓0.04
⑤	子どもたちは、自分のよさを生かしたり、子どもたち同士でよりよい関係をつくったりしていますか。	3	16	4		2.96	2	↓0.04
⑥	子どもたちは、先生方や子どもたち同士、地域の方々に明るく、気持ちのよいあいさつをしていますか。	1	13	11		2.60		↓0.23
⑦	子どもたちは、「かしわっ子 学習のきまり」「かしわっ子 生活のやくそく」「校外生活のきまり」を守っていますか。	2	18	3		2.96	2	↓0.09
⑧	算数科を中心に課題の提示や板書・ノート指導の工夫を行い、子どもが「わかる・できる」を実感できる授業を行いましたか。	4	11	3		3.06	7	↑0.06
⑨	いじめの未然防止や早期解決等、子ども一人一人を大切にした温かな指導(集団づくり)を行いましたか。	11	12	2		3.36		↑0.13
⑩	職員との協働、関係機関との連携を行いながら業務を推進しましたか。	15	9	1		3.56		↑0.30
回収率 72.7%						2.84		↑0.02
平均値が高い傾向 平均値が低い傾向								

令和3年度学校評価②「保護者アンケート」集計結果

	設問	A	B	C	D	平均	?	前回との比較
①	お子さんは、学力が身に付いていますか。	43	130	50	3	2.94	3	↓ 0.12
②	お子さんは、話を最後までしっかり聞いていますか。	39	113	61	12	2.80	4	↑ 0.04
③	お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いていますか。	36	76	63	53	2.42	1	↓ 0.13
④	お子さんは、たくさん運動をしていますか。	84	65	57	23	2.92	0	↓ 0.20
⑤	お子さんは、自分のよさや友だちのよさに気付いたり、話したりしていますか。	64	115	38	9	3.04	3	↓ 0.01
⑥	お子さんは、あいさつをしていますか。	75	109	42	2	3.13	1	↑ 0.07
⑦	お子さんは、きまりを守って生活していると思いますか。	58	122	42	6	3.02	1	↓ 0.02
⑧	美幌小学校は、お子さんが「わかる・できる」を実感できる授業を行っていると思いますか。	44	134	32	1	3.05	18	↓ 0.07
⑨	美幌小学校は、お子さん一人一人を大切にした教育活動を行っていると思いますか。	52	129	31	4	3.06	14	↓ 0.11
⑩	美幌小学校は、全教職員が連携した教育活動を行っていると思いますか。	45	122	25	4	3.06	33	↓ 0.06
回収数229(75.8%)						2.94		↓ 0.07
平均値が高い傾向 平均値が低い傾向								

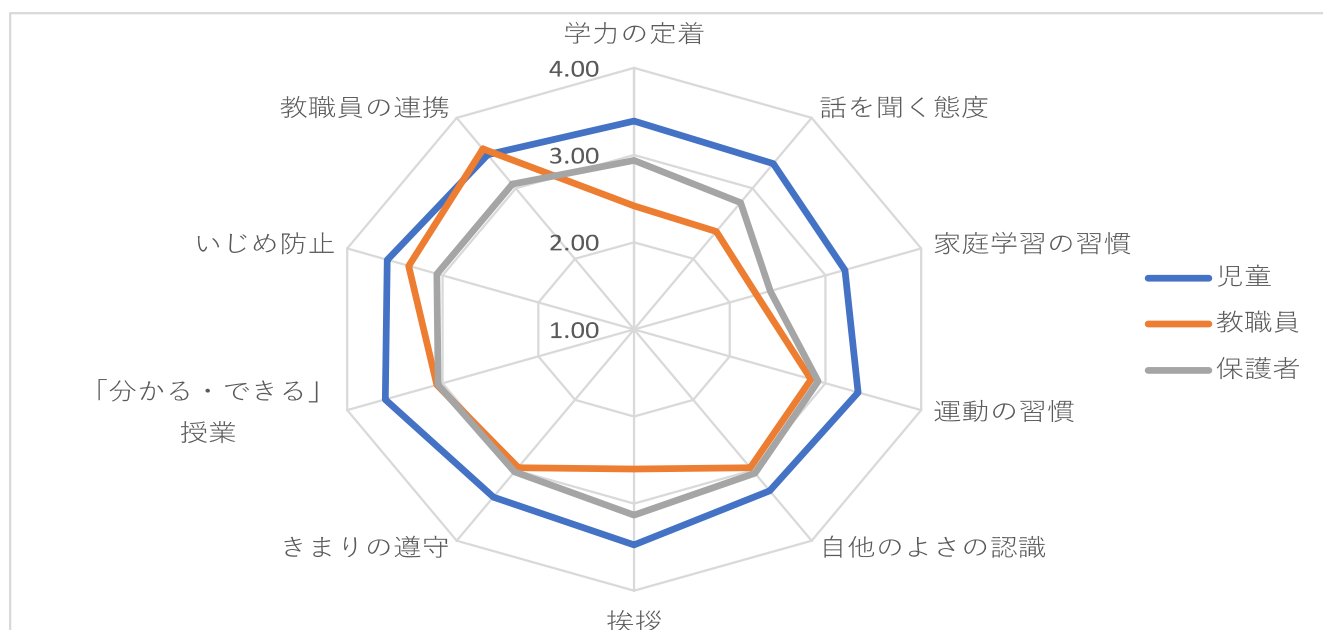
令和3年度 学校評価②「児童アンケート」集計結果

		よく	だいたい	あまり	ぜんぜん	平均	前回との比較
①	勉強したことがよくわかったり、できたりしていますか。	137	139	18	2	3.39	↑ 0.06
②	話をしている人を見て、最後までしっかり聞くことができますか。	134	134	26	2	3.35	↑ 0.05
③	家でも勉強していますか。	142	89	46	19	3.20	↑ 0.04
④	たくさん運動していますか。	174	68	34	20	3.34	↓ 0.09
⑤	自分のいいところやお友だちのいいところを見つけられていますか。	137	118	32	9	3.29	↑ 0.06
⑥	先生やお友だち、地域の人に明るいあいさつができていますか。	166	104	24	2	3.47	↓ 0.03
⑦	「かしわっ子 学習のきまり」「かしわっ子 生活のやくそく」「校外生活のきまり」が守られていますか。	136	139	19	2	3.38	↓ 0.01
⑧	算数などの授業で、学んだことやわかったことをノートに書いていますか。	203	74	13	6	3.60	↑ 0.05
⑨	人が嫌がるようなことをしないで、まわりと仲よくしていますか。	187	97	9	3	3.58	↑ 0.01
⑩	いろいろな先生と、お話をしたりお勉強をしたりしていますか。	172	96	26	2	3.48	↑ 0.07
	回収率 97.7%					3.41	↑ 0.02
	平均値が高い傾向 平均値が低い傾向						

学校だより号外 令和3年度 第2回学校評価の結果

昨年12月に実施した学校評価の結果をお知らせいたします。保護者の皆様のご協力に改めてお礼申し上げます。保護者アンケートの回収率は前回(令和3年7月)より5.5%上昇して75.8%でした。

☆評価基準 4 十分できている 3 概ねできている 2 やや不十分 1 不十分



1 学力の定着

全国学力・学習状況調査やチャレンジテスト等、客観的な調査の全体的な傾向からは、学力の向上が着実に進んでいます。しかし、基礎・基本の定着などの個人差も大きいことも事実であり、今後も引き続き子どもたちに学力が身に付くよう、努力を重ねてまいります。

2 話を聞く態度

前回より若干数値が上昇しましたが、依然として本校児童の大きな課題となっています。話し言葉だけでは理解できない場合は視覚的に示すなど、聞くだけではなく内容理解も大切にしていきたいと考えています。

3 家庭学習の習慣

前回よりもポイントが下がった項目です。ただ、保護者の皆様からいただいた自由記述では「自分から学習する習慣が付いた」といった内容の意見が多数見られました。今後も、声かけや自学学習のアドバイスをを行いながら、より多くの子に家庭での学習の意識を高めていきたいと思います。

4 運動の習慣

前回と比べて保護者の皆様のポイントが最も下がってしまいました。秋から冬にかけてということも原因の一つかもしれませんが、感染症対策も考えながらできることに今後も取り組んでいきます。

5 自他のよさの認識

依然として「自分には、よいところがあると思う」と感じていなかったり、ネガティブなものの言い方をしてしまったりする児童がいることも事実ですが、友だちに優しく声をかけている場面や努力をたたえて拍手をする場面など、良いところはたくさんあります。「ほめる」「認める」「評価する」ということを今後も学校や家庭で繰り返していくことで自己肯定感も高まっていくと思います。

6 挨拶

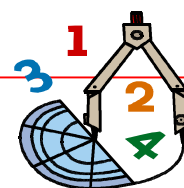
運動の習慣と同様にコロナの影響を受けた可能性もあり、数値が下がった項目の一つです。ただ、児童会三役の挨拶運動等、子供たちが考えてあいさつの意識を高め合う活動が行われていました。その場や状況に合わせた声の大きさを意識することが今は求められますが、挨拶についての声かけを継続していきます。

7 きまりの遵守

数値的には大きな変化はありませんでしたが、落ち着いて学校生活を送っています。自分たちの学校生活をよりよくするためのきまりを考えたり、声をかけ合ったりする活動の成果が表れてきています。

8 分かる・できる授業

本校では、以下の2点を今年度の重点として、学習指導要領に即した授業づくり、とりわけ算数科に力を入れて校内研究（教員研修）に取り組んできました。



今年度の校内研究（教員研修）の重点

- （１）練習問題の精選。
- （２）学びを振り返ること（自己評価）や、友だちの考えの良さを振り返ることができるノート指導。

教職員・児童のポイントが上昇し、全国学力・学習状況調査やチャレンジテスト等、客観的な調査の全体的な傾向からも、学力の向上が着実に進んでいると捉えています。今年度、本校で取り組んできた校内研究は、基礎・基本の定着だけではなく、仲間と学び合うことのよさや楽しさを実感できるためにどうすればよいかということに取り組みました。今後も、「分かる・できる」授業を目指して努力していきます。

9 いじめ防止

児童や教職員の数値が上昇し、保護者の皆様の数値が幾分下がった部分です。児童にとっては学校が居心地のよい場所となっているようにも思えますが、トラブルが全くないということはありません。教職員が全て見取ることは難しく、保護者の皆様からの貴重な情報をいただくことも事実です。情報をもとに一つ一つ丁寧に今後対応させていただきます。いじめ防止等、安心・安全な学校づくりは、学力向上と同様に本校が力を入れて取り組んでいる教育活動です。ご心配やご不明なこと等ありましたら、まずは各担任・学校（学年の先生・養護教諭・主幹教諭・教頭）へご相談いただきますようよろしくお願いいたします。

10 教職員の連携

教職員のポイントが大きく上がった一方で、保護者の皆様のポイントが下がった項目となります。また、14%の保護者の皆様から「分からない」との回答をいただきました。ただ、感染症対策を行いながら各種行事を実施することができたことなどに対する評価をいただきました。ありがとうございます。まだ終息が見えていませんが、「できることは何か」を考えながら児童のために今後も頑張りますので、よろしくお願いいたします。



保護者記述欄で好評価を得た取組【記述が多かったもの】

- （１）各種行事の実施 （２）学習への意識の高まり （３）各担任の取り組み・対応 （４）感染症対策

※今回、ネットで約3分の1の方にご回答いただきました。ありがとうございました。今後も継続したいと思います。

令和３年度学校関係者評価

令和３年１０月７日の第１回ＰＴＡ役員会、令和３年１月３１日の第２回ＰＴＡ役員会、令和３年１０月５日の第１回学校運営協議会、令和４年３月１０日の第２回学校運営協議会（紙面協議）において、本年度の職員・児童による内部評価及び保護者・地域による外部評価の結果について説明し、本校の教育活動全般について以下のような意見や質問を受けるとともに、学校関係者による評価をしていただいた。

- 子どものアンケート結果などがデータで可視化されることで、学校から情報を得られることは安心感につながるので、今後も続けて欲しい。
- コロナ禍の中、地域と学校が連携することは難しいとは思われるが、地域住民として前向きに協力していきたいと思う。
- コロナとの共存も２年以上となり、これまでに蓄積してきた経験をもとに、「できること」を考えて取り組んでいたように思えた。
- 親も子も期待のもてる運営を考えていただき感謝している。
- 学校便りなどで、タブレットＰＣ端末をどのように使って学んでいるのかを知ることができた。課題はあるかと思うが、これからも進めて欲しい。
- 昨年度は行事がほとんど行われなかったが、今年度は学芸会などの行事を実施することができたことはよかった。子どもたちに学校生活での思い出を一つでも多く作れるように、今後もできることを実施していただけるとありがたい。
- コロナ禍で昨年からできないことが多く、子供たちが大人になったときに思い出が何も無かったというのは酷だと思う。判断基準は難しいが、保護者の意見を聞きながらできる行事などをやって欲しい。
- コロナワクチンを打つ・打たないで差別が起こらないよう、教職員には意識して見守って欲しい。
- コロナ禍で保護者と先生方が直接話をする機会が少なく、顔と名前が一致しない先生も増えてきた。ＰＴＡ 広報誌や学校便り等で先生方について伝える工夫があってもいいように感じる。
- 子どもたちに関しては、色々な人とつながりがもてるように、自らが行動を起こせるように主体的に自立心を育んでもらいたい。
- 不登校の子がいるということの背景を地域・学校で探り対応していくことや、そのことを子どもたちと共に考え多様性を学ぶ力につなげていって欲しい。
- 子どもが育つ学校を目指して欲しい。主体的な学びを実現するために「わかりましたか？」ではなく「わからないところはどこですか？」と問える教育を実践して欲しい。
- 子どもが自分から、自分らしく、自分のことばで語れる学校を目指して欲しい。